会報第10号　　平成30年5月号

カンボジアの青い空

富山県カンボジア王国親善協会

事務局・富山市小中163番地
阪神化成工業株式会社内
T076-429-1865　F429-6042
発行責任者　中山　隆
事務局担当　石黒　美和

ご　挨　拶

富山県カンボジア王国親善協会　会長　高田　順一

富山市内の街路樹の緑が美しく映える季節になりました。皆様には益々ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃は当協会の運営に格別のご支援を賜っており厚く御礼を申し上げます。今年度も総会はじめホームスティ・プロジェクトなどの行事を行って参りますので、ご参加を賜りますようお願いを申し上げます。

当協会の設立から速いもので10年が経過いたしました。当時のことを思い出してみますと、2007年11月末にタイワ精機の高井芳樹会長が私に富山県とカンボジア王国の橋渡しをする協会を作りたいと構想を話されました。高井さんはカンボジア政府の要請を受けて、カンボジアの農業を強化するためのプロジェクトのため、精米機工場のパイロットプラントを現地に立ち上げておられました。フン・セン首相はじめカンボジア政府要人や在カンボジア日本大使など幅広い人脈をお持ちでした。私はそれまでにライオンズクラブの奉仕活動（学校建設や井戸掘りなどの事業）でカンボジアを訪問したことがあり、多少はカンボジアに関心を持っていましたがそれ以上のものではありませんでした。本来は高井さんが会長に就任されるべきでしたが、自分は高齢だからと私を会長に指名され、ご自身は副会長として会の運営に尽力するとおっしゃいました。私たちは早速ライオンズクラブの仲間に声をかけ、年末ではありましたが12月26日第1回の発起人会を開催しました。まず会の名称を富山県カンボジア王国親善協会と決め、設立に向けての準備を開始いたしました。高井さんに同行して東京・赤坂にあるカンボジア大使館を訪問し、駐日全権大使プー・ソティレアツ閣下にお会いする機会をいただきました。大使は協会の設立を大変喜んでいただき、全面的に支援するとおっしゃっていただきました。多くの方々の理解と協力を得て、大変短い準備期間でしたが、2008年3月13日に設立総会、記念講演会、記念式典、祝賀会を盛大に開催することができました。

以来、当協会が歩んできた10年間に高井副会長からは本当に多くのご指導をいただきました。歴代の駐日全権大使を富山県にお招きする際や、プノンペンにある日本大使館を訪問する際は、高井副会長に連絡を取っていただくか、直接足を運んでいただきました。その他にもカンボジアを訪問する時期や訪問地を選択する際には、高井副会長の豊富な経験や知識に頼らせていただき、滞在中の便宜を図っていただきました。その高井副会長がこのたび副会長を辞任されることになりました。ご本人から体調を理由にお申し出がありましたので、理事会で協議し受理させていただきました。また長年にわたり理事をお努めいただきました黒田昭様、若林啓介様、関野光俊様がご退任されました。当協会生みの親である高井副会長はじめ黒田理事、若林理事、関野理事のご功績に対し協会を代表して心から感謝を申し上げます。そしてこれからも変わらぬご指導を賜りますようお願いを申し上げます。

ホームステイ受け入れ事業

プン・プットカニカー

レック・ヴォーレアック

皆さん、夢のお国がありますでしょうか。もちろん、私の夢の国は日本です。富山県に行ったら、富山県から学ぶことは何ですか。何を学びたいですか。

私にとって富山県に行ったら、５つのことを学びたいと思います。日本人が皆やさしくて、暖かい心を持っていると思いますから、その人たちのとおりになりたいです。富山県の遺跡について知りたいです。日本人の生活習慣などの文化を知りたいです。ボランティアをすることが大好きですから、カンボジアで日本のお祭りを行う時、私はいつもボランティアになるのはいろいろな日本の文化に関して私ができるからです。書道と茶道が学びたいです。日本でボランティアをしたいです。なぜなら、私の国は困っていることがあっても、日本はいつもてつだってくれて、そのおかげで私の国は大丈夫だと思います。例えばツバサ橋のように、その橋は交通のことで、カンボジアの国民はとてもうれしいと思います。なぜなら、便利で、役に立つ橋ですから、日本政府と日本国民に「ありがとうございます」と言いたいです。日本の文学史を学びたいと思う。俳句や和歌などが好きだから学びたいです。　最後に、母国に帰るなら、日本のように自分の国が発展している国になるために日本の技術について習って、新しいアイディアを考えたいです。だから、このプログラムがいいチャンスだと思う。希望が成功になりますように。楽しみにしています。

富山県でのホームステイプログラムを知った後、富山県に関する情報を調べてみた。そこで、富山県は素晴らしい県だと思った。なぜなら、富山県は日本で自然災害が一番少なく、生活の環境もとてもいいとわかったからである。

ところで、ホームステイのプログラムの中で興味のある点は様々あるので、三つに分ける。第一は、富山県の教育である。富山県の県民の生活水準は最も高い。その理由の一つは教育に関係があると思う。そのため、国立富山大学教育学部はどうか、学生がどうやって勉強しているか、カンボジアとどう違うかについて意見交換をしたい。また、このプログラムに参加できたら、日本人にカンボジアのことをもっと知らせたい。例えば、カンボジアの社会、文化、世界遺産等である。

第二は、富山県の魅力と技術である。インターネットで見ると、富山県は自然が溢れる非常に美しく感じられる県だと思う。ネットで見ても、富山県はすばらしいと思うが、実際に見に行ってその美しさを実感したい。特に、観光が有名で世界遺産として登録された相倉合掌造り集落に行きたい。そして、富山県の技術であるガラス工房を見学したい。カンボジアにはこのような技術がないので、その技術はどんなにすごいのかを知りたい。

第三は、富山県の文化である。富山県の教育、自然の魅力の上に、文化についても学びたい。富山県の家庭でのホームステイを通じて、国民の生活水準、文化を学べる上に、富山県の代表的な八尾おわら踊りを知りたいと思う。その踊りは素敵な服を着ているが、なぜ顔を隠すのか、何のために踊るのかを知りたい。同時に日本人の夏休みの楽しさを実際に体験したい。

富山県へ行くことができたら、富山県の様々な魅力のことを勉強しながら、カンボジアとの架け橋を強化でき、両国のために役立つと確信している。

H29.8.25～H29.9.3

リー・オッドモニー

私は、今高校二年生です。アニメがきっかけで日本についてたくさん知りたくなり、CJCC で約二年日本語を勉強しています。次は、勉強するだけじゃなくて、日本で友達を作りたいです。

そして、富山県の学校に行ってみたいです。アニメやドラマで、日本の学生はお祭りを楽しんでいます。文化祭の夜、学生たちはフォークダンスをします。キャンプファイヤーの周りで踊ります。学生たちは楽しそうです。でも、カンボジアでは、お祭りは楽しいですが、学生たちは自分のダンスがあまり好きじゃないです。例えば、クメールお正月の時、私の友達はヨーロッパの踊りを踊りました。私は悲しかったです。そして、日本人や日本の学生が自分の文化や習慣を守る為に、どのようにしているのか、知りたいです。私はカンボジア人も学生も自分の文化を守ってほしいです。富山県での学生の生活はどうか、友達に聞いてみたいです。

また、私は日本の米を食べたことがありませんので、富山県の美味しいご飯を本当に食べてみたいです。先輩も富山県の米が美味しいと言っていました。そんな美味しい米をどうやって作るのかも知りたいです。富山県から帰ったら、米を作っている私のおじにその方法を伝えたいです。できれば、友達や家族に日本のご飯を炊いて、食べさせてあげたいです。日本人もカンボジアのご飯を食べてほしいです。

富山県にたくさん文化があるそうです。例えば、おわら風の盆です。YOUTUBE を見て、好きになりました。面白そうです。私はそのおわら風の盆踊りも習いたいです。富山県の立山というところにも行きたいです。とてもきれいな景色が見られると思います。

富山県に行ったら、新しい発見がたくさんできると思います。友達を作って色々な質問をしてみたいです。日本の友達にカンボジアのことも紹介したいです。そして、富山県での体験を後輩にも話したいです。

≪ホームステイ生の選考について≫

選考は CJCC に一任しております。
今年度はカンボジアで日本語を勉強している学生３名を受け入れました。
今年度のホームステイプログラムには３４名の応募がありました。書類選考と面接により３名が選ばれました。

≪ホームステイ学生の紹介≫

プン・プットカニカーさん　女性　２１歳
王立プノンペン大学　外国語学部　３年生
特技：人を笑わせること
趣味：読書、書道

レック・ヴォーレアックさん　女性　１９歳
王立法律経済大学法学部　在籍
特技：ギターを弾くこと
趣味：読書

リー・オッドモニーさん　男性　１７歳
ベールティ高校　在籍
特技：ギターを弾くこと
趣味：アニメを見ること

≪ＣＪＣＣについて≫

カンボジア日本人材開発センター（ＣＪＣＣ）は、日本の知識や経験を活かしてカンボジアの市場経済化を促進し、市場経済化を担う実務人材あるいは地場の中小企業を主たるターゲットとした産業育成を担う人材を育成すること及びカンボジアと日本の相互理解を深めていくことを目的として２００４年に設立されました。センターの建物は日本政府の無償資金協力によって、王立プノンペン大学（ＲＵＰＰ）の構内に図書室・多目的ホール・和室・展示スペース等を備えた建物が２００５年１１月に完成し、「カンボジアにおける人材育成と情報発信・相互理解の拠点」として、今後ますます活発に事業が展開されていきます。

平成２９年度　富山県カンボジア王国親善協会ホームステイ日程表

平成２９年８月２５日（金）から９月３日（日）

日	曜日	午前	午後	ホームステイ宿泊先	
8/25	金	10:50　小松空港出迎え	15:00　阪神化成工業 受入れ家庭説明会	リー・オッドモニー プン・プットカニナー レック・ヴォーレアック	門前様宅 中村様宅 高田様宅
8/26	土	自由時間	18:00　歓迎会 富山第一ホテル コメドール	リー・オッドモニー プン・プットカニナー レック・ヴォーレアック	門前様宅 中村様宅 高田様宅
8/27	日	9:00　立山観光	16:00　阪神化成工業 東側駐車場　到着・解散	リー・オッドモニー プン・プットカニナー レック・ヴォーレアック	門前様宅 中村様宅 高田様宅
8/28	月	10:00　海王丸 12:00 フェルヴェール	14:00　五箇山合掌村	リー・オッドモニー プン・プットカニナー レック・ヴォーレアック	門前様宅 中村様宅 高田様宅
8/29	火	10:00　富山ガラス工房	13:30　富山市役所　森市長訪問 14:30　北日本新聞社　訪問 15:30　富山市ガラス美術館	リー・オッドモニー プン・プットカニナー レック・ヴォーレアック	牧様宅 成川様宅 中山様宅
8/30	水	10:30 富山県中央植物園	13:30　華道・茶道体験 18:00　八尾おわら前夜祭	リー・オッドモニー プン・プットカニナー レック・ヴォーレアック	牧様宅 成川様宅 中山様宅
8/31	木	11:50　富山大学 人間発達学部 根岸教授ゼミ訪問	14:00　タイワ精機　訪問 餅つき	リー・オッドモニー プン・プットカニナー レック・ヴォーレアック	牧様宅 成川様宅 中山様宅
9/1	金	10:00　魚津水族館	13:30　宮崎海岸	リー・オッドモニー プン・プットカニナー レック・ヴォーレアック	牧様宅 成川様宅 中山様宅
9/2	土	10:30　富山市内観光 セントラム乗車	13:00　ファボーレ　買い物 18:00　送別会 富山第一ホテル 白楽天	リー・オッドモニー プン・プットカニナー レック・ヴォーレアック	牧様宅 成川様宅 中山様宅
9/3	日	10:45　小松空港見送り			

ホームステイ受け入れ事業　写真集

３名の学生は、１０日間、富山県内のたくさんの場所へ行き、色々な体験をしました。その様子を写真でご紹介します。

ご多用中にも関わらず、受け入れをしてくださいましたホストファミリーの皆様、ご同行いただきました会員の方々、また、行事にご参加くださいました皆様に心よりお礼申し上げます。

今後とも、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

小松空港に到着

ホストファミリーとブドウ狩り

富山第一ホテル　コメドールにて歓迎会

立山観光　天候に恵まれ最高でした☆

海王丸パーク

伊勢副会長のレストランにて

五箇山合掌造り

富山ガラス工房へ行きました

真剣に作品を制作しました

富山市役所　森市長表敬訪問

北日本新聞社　表敬訪問

長江様宅にて、茶道と華道を体験しました

八尾おわら前夜祭

富山大学人間発達科学部訪問

根岸教授ゼミの学生と交流しました

㈱タイワ精機訪問

餅つきを体験後、おいしくいただきました♪

魚津水族館へ行きました

ミラージュランドにて乗馬！！

宮崎海岸でひすい探し

富山第一ホテル　白楽天にて送別会

富山での出来事を振り返り楽しい時間を過ごしました

ホームステイ受け入れ事業のお世話をして

菱越電機㈱
代表取締役社長　鷲塚　尚志

２０１７年８月２５日、残暑が厳しい中カンボジアより、高校生のリーオッドモニー君、大学生のプンプットカニカーさん、レックヴォーレアックさんの３名が小松空港に到着した。

私は３日目、海王丸パークを案内し、海を見る機会が少ない彼らは広大な景色にびっくりしていました。その後福岡町へ伊勢副会長様の菓子工房フェルヴェールで大きなオムライスを頂き、残さずたべて大変美味しいと喜んでいました。さらに南下し五箇山の合掌村へ行きました。山間部にもかかわらず今シーズン一番暑い日に当たり、かき氷で冷やしながら日本の文化・歴史にふれて頂きました。

７日目は魚津水族館で魚・動物を見て、川魚はカンボジアでもよく見るが海の魚はカラフルで珍しいとの事で写真をいっぱい撮っていました。その後高岸副会長様のご案内でホテルグランミラージュで懐石を頂き、これも残さず全部食べて日本の食事はほとんど大丈夫と感じました。さらに宮崎海岸でヒスイ拾いに挑戦し鑑定してもらい小さなヒスイも拾うことが出来て良いお土産になったと思います。最終日に送別会で写真と共に充実した１０日間を振り返りしっかりとした日本語で感謝され、とても良いステイになったと思います。

小松空港の別れの際は、さみしい気持ちになりましたが、今年度のカンボジア訪問で彼らに再開して大変喜んでくれて、しっかり日本とカンボジアの絆を実感できました。

彼らに感動を与えて頂いた世話人のみなさま大変有難うございました。

ホームステイの受け入れをして

富山コピー販売㈱
代表取締役社長　中村　欣司

昨年の８月２５日から９月３日まで、９泊１０日の日程で富山県カンボジア王国親善協会よりホームステイ受け入れの依頼が有りました。今まで二人のカンボジアの女子学生を受け入れていたので直ぐに依頼を受けました。

家には小学六年生の娘が一人いますのでいつも良い話し相手になってくれます。トイレの使い方、シャワーの使い方、ご飯を食べる時の事など色々と説明するのが娘の役割です。

日本語がとても上手で日常会話にはほとんど問題がなくて助かります。アニメや漫画もよく知っていました。カラオケも歌ってみる？と聞くと歌いたい！とても上手で驚きました。食べ物は、ほとんどの物が食べられるようで、特に刺身や寿司などは大好きですが、やはり納豆はダメみたいで、大根のにおいもダメだそうです。日本人でも嫌いな人がいるくらいなので大丈夫ですよと伝えておきました。

みなさん日本の事がとても好きで、茶道、華道、浴衣などの日本の文化にも興味が有り体験してみました。正座して座る事がないので、直ぐに足が痛くなりましたが、我慢して和菓子も美味しく頂きとても気に入ったようでした。痛い思い出、美味しい思い出、たくさん出来たと思います。

ホストファミリーになるのは三度目ですが、いつもカンボジアの子供たちには感心します。

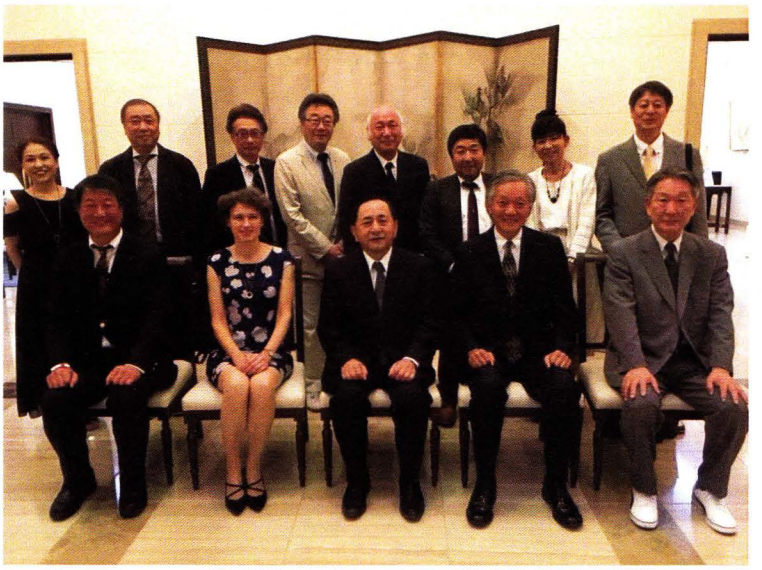
家の娘もカンボジアに行って見たいとカンボジアに興味を持っています。いつか機会があれば家族でカンボジアに行ってみたいと思います。

協会設立１０周年記念

第　６　回　カ　ン　ボ　ジ　ア　王　国　訪　問　団

【旅程表】

	月 日	地　名	現地時刻	交通機関	摘　　要
第1日	2018年 3月2日 （金）	JR富山駅北口 小松空港 〃 仁川空港 〃 ﾌﾟﾉﾝﾍﾟﾝ空港	08：30発 10：00着 12：00発 14：05着 18：30発 22：25着	貸切ﾊﾞｽ KE 776便 (大韓航空) KE 689便 貸切ﾊﾞｽ	小松空港へ(北陸自動車道経由) 着後、出国手続 仁川(ｿｳﾙ)空港へ(所要：2時間05分/時差無) 着後、乗継便搭乗手続及び空港内待機 ﾌﾟﾉﾝﾍﾟﾝ空港へ(所要：5時間55分/時差 -2時間) 着後、入国手続 ホテルへ(所要：約30分)　(泊)ﾌﾟﾉﾝﾍﾟﾝ
第2日	3月3日 （土）	プノンペン 〃 シアヌークビル	午 前 午 後	貸切ﾊﾞｽ	朝食(ホテル) シアヌークビルへ(所要：約 5時間) 〔途中、昼食(地方ﾚｽﾄﾗﾝ)休憩含〕 ホテルチェックイン 夕食(ホテル)　(泊)シアヌークビル
第3日	3月4日 （日）	シアヌークビル	終 日	フリー	朝食(ホテル) 終日自由行動(原則、ホテル滞在) 昼食(ホテル) 終日自由行動(原則、ホテル滞在) 夕食(ホテル)　(泊)シアヌークビル
第4日	3月5日 （月）	シアヌークビル プノンペン 〃	朝 昼 過 午 後 夜	貸切ﾊﾞｽ 〃	朝食(ホテル)後、直ちにﾌﾟﾉﾝﾍﾟﾝへ(所要：約 5時間) 着後、昼食(市内ﾚｽﾄﾗﾝ) CJCC訪問 日本大使館訪問(大使館にて夕食) ホテル着 (泊)ﾌﾟﾉﾝﾍﾟﾝ
第5日	3月6日 （火）	プノンペン コンポンチュナン プノンペン ﾌﾟﾉﾝﾍﾟﾝ空港 〃	午前～ ～午後 午 後 19：00頃 21：30着 23：45発	貸切ﾊﾞｽ KE 690便	朝食(ホテル)後、チェックアウト 郊外、コンポンチュナン日帰り視察へ(片道所要： 着後、昼食(地方ﾚｽﾄﾗﾝ)　約2時間) クメール伝統陶器復興作業所訪問(山崎幸恵様) 再び、プノンペンへ 夕食(市内ﾚｽﾄﾗﾝ) ﾎｰﾑｽﾃｲ学生との会食 空港へ　着後、出国手続 仁川(ｿｳﾙ)空港へ(所要：5時間/時差 +2時間)
第6日	3月7日 （水）	仁川空港 〃 小松空港 〃 JR富山駅北口	06：45着 09：05発 10：50着 11：30発 13：00着	KE 775便 貸切ﾊﾞｽ	着後、乗継便搭乗手続　(泊)機中 小松空港へ(所要：1時間45分/時差無) 着後、入国手続 富山駅北口へ(北陸自動車道経由) 着後、ご帰宅へ



日本大使館にて堀之内大使ご夫妻と会食

ＣＪＣＣ訪問

１３年前のプノンペンを思い出しながらの旅

㈱やぶうち商会
代表取締役社長　飯倉　清博

３月２日、小松空港到着後、出発前のミーティング。14：00 頃　韓国仁川空港着、着後出発まで４時間の待ち時間の為、２回目のミーティング、飲食を十分にとり、韓国海苔もお土産にいただき、18：30 プノンペンへ向う。プノンペン到着は　22：00 過ぎでしたが、2005 年以来の訪問でしたので、当時に比べ空港はまったく違った建物でした、又ホテルへ向かう道中も家々には明かりがついており、車が沢山走っているまったく違った街に思えました。当日の宿泊は以前と同じプノンペンホテルで、ホテル自体はほぼ変わらないように思え、大変懐かしく思いました。　明朝、ホテルの窓越しに見える景色に驚きました。高層ビルが何ヶ所かにあり、車の往来の激しい活気溢れる街が、そこにありました。２日目は朝プノンペンを出発し、シアヌークビルまでの行程ですが、朝のラッシュに出会い、バスはノロノロ運転、車中から見える光景と 2005 年の頃の違いに感激し、東南アジアの発展途上国のエネルギーを感じました。また、街中で走る車の多くが、トヨタのレクサスだったのは印象的でした。バスは郊外に出るとスムーズに走り、途中の景色は以前と変わらない牧歌的で心を癒してくれました。運転手の上手な運転でかなり早くシアヌークビルに到着、そこには中国語の看板と中国語が氾濫していました。まるで中国化したカンボジアがそこにありました。シアヌークビルでの滞在はリゾートホテルで快適でしたが、残念だったのが世界一綺麗な砂浜のはずが見る事もおぞましい光景でした。２泊の後　バスにてプノンペンへ戻り、CJCC 訪問と、今回の旅行で最も記憶に残った、日本大使館での、大使夫妻との楽しい夕食会、大使の心遣いと大使夫人の車についてのお話は印象に残りました。この旅行に同行いただいた、タイワ精機の高井社長と現地でお世話になったモニラ様、CJCC の方々、そして日本から一緒に行った方々にも、大変感謝しております。

カンボジア王国訪問報告

㈱不二ビル
代表取締役社長　齋藤　富治

2018 年 3 月 2 日から 7 日までの日程で、カンボジア王国の訪問に参加させていただきました。
カンボジアに伺うのは 3 回目になりますが、首都のプノンペン以外、他は行ったことが無かったので、リゾート地のシアヌークビルの訪問が日程に入っていて、初めて伺う地でもあり楽しみにしておりました。

3 月 2 日の夜中にプノンペン空港に到着して、3 月 3 日の翌朝にはシアヌークビルに向けてバスで移動でした、バスの運転手さんのスリルとサスペンスが満載の見事なドライブテクニックでしたが、無事に目的地のシアヌークビルに到着する事が出来たのも良い思い出になりました。

シアヌークビルは、さすがにリゾート地で立派なホテルが立ち並びや建築中の建物も沢山ありこれからのカンボジアの発展が見えるようでした。

3 月 4 日は日本とカンボジアの懸け橋となって活動されている山崎幸恵さんのショップに立ち寄った後に、カンボジア富山協会からＣＪＣＣへの本の寄贈にも、立ち会わせていただきました。

3 月 5 日は日本大使館で堀之内大使への表敬訪問と会食に参加させていただきました。
富山から来たという事で料理にも気を配っていただいたのかもしれませんが、ホタルイカの酢味噌和えをいただけたのには驚きました。又、お刺身などの日本料理も大変おいしく食事をいただきました。

カンボジアはこれから発展していく若い国です。子供たちもたくさんいて若い勢いを感じる事が出来ました。山崎幸恵さんの様な活動は出来ないけれども、少しでもカンボジアの発展に協力できるところを考えながらお付き合いしていけたらと思います。

日本は少子高齢化で今後の働き手の確保も大変な状況ですが、カンボジアの皆さんと、これからもウィンウィンの良い関係を築いて行ければと願っております。

事　業　報　告(経　過　報　告)

（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

H29. 4. 24	阪神化成工業会議室に於いて、理事会を開催。 第10回定時総会について協議。
5. 25	富山第一ホテルに於いて、第10回定時総会及び懇親会を開催。
7. 31	阪神化成工業会議室に於いて、理事会を開催。 ホームステイ受け入れ事業について協議。
8. 25 ～ 9. 3	6回目の「ホームステイ受け入れ事業」にカンボジア日本人材開発センターから派遣された3名の学生が富山に滞在する。 会員の各家庭に宿泊し、交流を深める。
10. 18	阪神化成工業会議室に於いて、理事会を開催。 ホームステイ事業の報告を行う。 カンボジア王国訪問について協議。
11. 9	チア・キムター大使より要請があり、在日本カンボジア王国大使館へ カンボジア独立記念日の広告協賛をする。
11. 12	富山駅自由通路、CICビルで行われた国際交流フェスティバルに参加し、 カンボジア王国及び協会のPRをする。
H30. 3. 2 ～ 3. 7	協会設立10周年記念、第6回カンボジア王国訪問事業として、 4泊6日の日程で会員11名がカンボジア王国を訪問する。 シアヌークビルというリゾート地を初めて訪れ、カンボジアの新しい観光開発を視察する。 在カンボジア日本大使館を訪問し、大使公邸にて堀之内大使より夕食会に招待していただく。 カンボジア日本人材開発センター、陶芸の里を訪問。 最後の日の夕食会ではホームステイの学生を招待し、思い出話に花を咲かせ楽しく過ごすことができました。

国際交流フェスティバルに参加

平成２９年１１月１２日（日）

富山駅自由通路やCICビルで開催される「国際交流フェスティバル in TOYAMA」に毎年参加しています。今回もブースには大勢の方が来て下さり、協会の活動を紹介しました。

編集後記

今回も皆様のご協力のもと、会報第１０号を発行することができました。

ホームステイ事業やカンボジア訪問の様子が皆様に伝わればと願っております。

今年度もよろしくお願い申し上げます。

（事務局）